

今四半期で注目される
2021年6月第1四半報における
収益認識・コロナ禍関連
の開示分析

第1章

実務上の便法の適用状況、分解情報など
収益認識基準に関する開示分析

第2章

非財務情報、特損、追加情報など
コロナ禍の影響に関する開示分析

EY新日本有限責任監査法人 公認会計士

須賀 勇介
清宮 悠太
中澤 範之

2021年6月第1四半報における大きな注目点は、本年4月1日から原則適用される収益認識基準の初めての開示内容、および、新型コロナウイルス感染症が与える企業の事業活動への影響の開示への反映であろう。

本特集では、これら2つの注目点について、開示分析を行ってもらった。今後の開示実務への参考にしていただきたい。